

One to One

宮城県主催の

「NPOの組織基盤強化」事業が、いよいよ始まります！

東日本大震災から4年目を迎え、被災地でのニーズは日々変化し、NPOへ求められる支援の在り方も、徐々に変化しています。また、被災地で活動する団体への助成金も、徐々に減少傾向にあり、今後、助成金頼りの組織運営では、課題解決のための継続的な取り組みは難しくなってきます。そして、被災地のNPOを支援するNPO支援センターや各市町村のNPO担当部署も、これからの『NPO支援』のあり方が問われてきています。

宮城県はそれらに対応すべく、11月から来年3月まで、NPOの組織基盤強化及びNPOを支援する中間支援の強化に関する事業を実施します。

◆まずは資金集めの方法を模索

早速、11月6日(木)には秋田県等の協働で設置した助成基金「あきたスギッチファンド」の事務局でもある、NPO法人あきたパートナーシップの副理事長の畠山順子さんを講師に迎え、資金調達に関するセミナー「地域で実践できる寄付の集め方教室」が開催されます。

クラウドファンディングなど多様な資金調達の手法がありますが、今回は、首都圏のファンドレイジングから少し視点を変えて、地域の特性を活かした資金調達の方法を模索することに焦点を当てます。

◆NPO法人会計基準の普及と

認定NPO法人制度への理解促進

昨年に引き続き、NPO法人の信頼を高めるために会計の基礎から会計基準に沿った決算書作成に至る実践の講座や、労務

管理に関する講座等の開催を予定しています。また、専門家による団体を訪問しての個別指導も計画中です。

また徐々にではありますが、税制優遇が認められる認定制度に関心を寄せるNPO法人も増えて来ていることを考慮し、まずは制度を理解してもらう講座や、既に認定を取っているNPO法人の事例発表や相談会を開催し、認定NPO法人申請の促進に取り組みます。

◆求められる「支援側」の人材育成

現在、宮城県内には、NPOを支援する施設が12か所あります。施設によりNPOが指定管理者、市が直接運営と、運営形態や地域によって支援対象や求められる支援のあり方も様々です。

今回は、宮城県内の中間支援組織及びNPO支援センター等に対し、NPO等に係る支援力向上のセミナーを12月3日(水)～4日(木)の1泊2日の宿泊型研修として東北自治総合研修センターで行います。

そして今年は、セミナー開催後、県内のNPO支援センターを訪問し、その地域のNPO支援現状を聞き、課題となっていることへの助言やアドバイスなどを行う予定です。

今年度は、来年1月末に、県内のNPOや自治体職員を対象にした、共助社会や協働をテーマとしたフォーラム及び交流会も開催します。NPO支援に関わる組織や施設、そして各市町村のNPO担当部署と共に、これからの『NPO支援』のあり方について学び、情報交換する機会が増えますので、宮城のNPOの支援力を高め、さらに各地のNPO活動を盛り上げていくことを目指します。

【今後のスケジュール】

■地域で実践できる「寄付の集め方教室」

開催日時:11月6日(木) 14:00～16:30
会場:みやぎ婦人会館 第1研修室

■認定NPO法人制度を知る講座

開催日・地域:11月25日(火) 大崎市
11月26日(水) 石巻市
12月2日(火) 大河原町
2月上旬予定 仙台市

■認定NPO法人セミナー＆相談会

開催日:12月9日(火) 13:30～17:30
開催地:仙台市

■中間支援組織等の機能強化セミナー

開催日時:12月3日(水)～12月4日(木)
会場:東北自治総合研修センター

■地域における協働推進フォーラム

開催日時:1月末(予定)
開催地:仙台市

■NPO法人会計基準普及講座・相談

■税務・労務講座・相談

上記いずれも

開催時期:1月中旬～2月下旬

開催地域:気仙沼市、栗原市、登米市、
大崎市、石巻市、仙台市、大河原町

【問合せ先】

〒983-0852

仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6

T E L:022-791-9323 FAX:022-791-9327

E-mail:npo@yururu.com

U R L:<http://www.yururu.com/>

伝えよう、広げよう、みんなの想い みやぎNPOフォーラム2014 開催

10月19日(日)、みやぎNPOプラザでは「みやぎNPOフォーラム2014(以下、フォーラム)」が開催されました。フォーラムは、毎年、市民の方々にNPOをより身近に感じてもらい、理解を深めてもらう機会としています。今年は「伝えよう、広げよう、みんなの想い」をキャッチフレーズに、市民もNPOも参加して、市民活動を感じられる企画が盛りだくさんとなりました。

市民の交流の場 みやぎのNPOひろば

プログラムの1つ「みやぎのNPOひろば」では、みやぎNPOプラザの会議室とショップ・ギャラリースペースを開放し、入居団体と公募により選考された16団体がそれぞれの団体の活動をPRしました。

◆たくさんの商品に想いを込めて

販売ブースのテーブルには、各団体の個性あふれる商品が並びました。

地域の人々が安心して生活を送れるようにと活動するNPO法人あなたの街の「三河や」さんは、運営する就労支援施設で作られたピザやクロワッサンなどのパンやリサイクル衣料を販売しまし



▲こだわりの商品を求めて、賑わう販売ブース

た。仙南地域のまちづくりを行うNPO法人ガーネットみやぎは、山元町特産品のいちごを練りこんだ麺など、地域性を全面に出した商品を持

ち込みました。精神障がい者のための通所作業施設を持つNPO法人ハートライフせんだい創働舎は、縁起物の手作りを販売しました。自然を感じ環境に適した生活を提案するNPO法人フォレストサイクル元樹は、動物や恐竜、楽器など種類豊富な木工作品の販売や大きな薪ストーブを展示しました。アフリカの生産者の経済的自立を支援しているNPO法人アマニ・ヤ・アフリカは、フェアトレード雑貨を販売しました。現在、常設ショップとして生活困窮者の相談対応を行うNPO法人仙台夜まわりグループは、日用品などのバザーを開きました。

会場には多くの市民が訪れ、商品説明を聞いたり、商品を手に取ってじっくり眺めたりする姿が見られました。初めてみやぎNPOプラザに来館したという女性は、「いろいろな活動があるのね」と買い物袋を手に笑顔で話していました。

◆言葉を超えて伝わるもの

会議室では各団体の活動紹介が行われ、展示やワークショップ、講座などにさまざまな工夫を凝らしていました。

第1会議室では、防災・減災活動に取り組むNPO法人みやぎ災害救援ボランティアセンターが災害時の対応マニュアルや事例を解説しました。消費者問題やエコロジーに力を入れるNPO法人仙台・みやぎ消費者支援ネットは、牛乳パックを使用したカードケース作りのワークショップを行いました。

手作りマルシェと題した第2会議室では、お花でボランティアに取り組むフラワーセラピー研究会仙台地区、不登校・ひ



▲丁寧な説明でカードケースを作成

きこもり・発達障害等で生き辛さを抱える方々の支援を行うNPO法人まきばフリースクール、身体の状況や年齢に関わらず心地よい服作りを行うユニバーサルファッション工房繕の3団体がワークショップや商品販売を行いました。それぞれ、ワイルドフラワーを使った秋らしいアレンジ、こぎん刺しや陶器のカップ、タオルと紐で作る万能エプロンなど手作りを楽しむ空間となりました。

第3会議室では、障がいの有無を問わずアートを楽しめる環境づくりを目指す、すんぷちよがダンスワークショップの様子などをお茶を飲みながら伝えるサロンを実施、特別養護老人ホームで寄り添い型のボランティアを行うNPO法人仙台敬老奉仕会はパネルや書籍を使いながら活動を紹介しました。

研修室では、学生主体で政治を身近にしようと活動するNPO法人ドットジェイピー東北支部が若年投票率の向上を目指すワークショップを開きました。ICTを活用したNPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城がタブレットの体験講座を行いました。

団体同士がそれぞれの企画に参加する場面も見られ、活動地域や分野が異なるNPOが交流を深める機会にもなりました。言葉はもちろん、身振り手振りを交えて団体の活動を紹介する姿は、市民の方にもしっくりと伝わっているようでした。プログラムに参加した男性は「とても勉強になった。話しぶりや表情から本気を感じた」と感想を述べていました。

「みやぎから発信!

座談カフェ

NPOの役割と未来を語ろう!

◆NPOの手で持続可能な地域づくりを!

フォーラム午後の部の座談カフェ「みやぎから発信! NPOの役割と未来を語ろう!」では、市民やNPOの関係者に参加者によるワークショップとゲスト3人の活動報告や質疑を組み合わせるスタイルで行われました。

NPO活動の理念や意義、課題をあらためて確認し、次の世代につなぐための条件について活発に意見交換しました。



▲ワークショップの様子

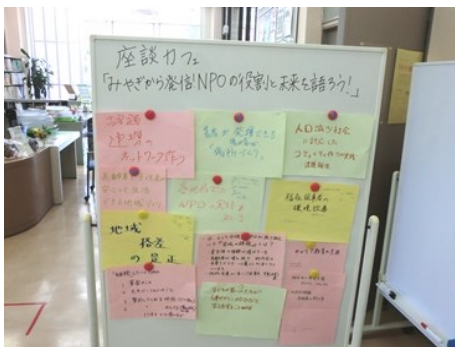
法人杜の伝言板ゆるる代表理事の大久保朝江さん。

中山さんは若い世代のキャリア教育の分野で、多様な「おとなのモデル」を若者たちに見せる活動に取り組んでいます。佐藤さんは、東日本大震災の前後の記憶をつなぐ活動に市民ボランティアとともに取り組んでいます。大久保さんは、NPO法策定以前からNPOを支援する中間支援団体のリーダーとして活躍しています。

◆地域衰退、NPOが支える

前半に開かれたワークショップは「今、そして今後、NPOが取り組むべき宮城の課題とは?」のテーマで開かれました。参加者約40人が5つのテ

ーブルに分かれて議論を集約しました。その結果、「持続可能な地域づくりになっていない。このままでは先細りだ」「人口減少が続き、行政も対応できない課題が増



▲参加者からでた「課題」

加する」など、少子高齢化と人口減少に伴い、地域が衰退することへの危機感が強く示され、解決の担い手としてのNPOに期待す

る思いがにじんだものとなりました。

一方「助成金などに依存しすぎると自立的な運営が難しい」「使命感が強い割に組織を統括する力が弱い」「地域の諸課題を解決するには、NPO同士がもっとネットワークづくりを進める必要がある」などの意見も出されました。

◆新しい発想で課題克服

これに対して3人のゲストはそれぞれの団体が助成金などに依存する傾向が強いことを認めながらも、今後につなげるための新しい取り組みについて説明しました。

中山さんは「今はまさに転換期」と強調しながら「年間いくらかという個人会員とは別に、500円、1000円、1500円の形で、毎月小額をクレジットで自動的に引き落としができるようにしました。継続性のあるお金を集めるためです」と話しました。

佐藤さんは「資金をネット上で集めるクラウドファンディングを活用しました。それぞれのプロジェクトに対して、全国から賛同を得られた場合に資金が得ら



▲市民と「対話する」ゲストたち

れ、活動費に充てられるというものです。『3.11キラクのキルク』という本を全国の図書館に届けるプロジェクトを立ち上げたときは138万円の目標額を設定しました。仮に目標額に達しないとしても、わたしたちの活動について全国に情報発信する重要な機会となります」と話していました。

大久保さんは「NPOは自立すべきだと言うけれども、自立とは一体何でしょう。つまり行政から金をもらうということなのか、それとも自前で収入が増えていくな事業を作りだせということなのか」と前置きしながら「でも、お金にならなくとも必要とされる活動が継続していかないと、地域の生活環境は向上しません」と訴えました。

9月1日号に掲載した「巻. com」のロゴマークのコピーライトマークが未表記のまま、発行してしまいました。
取材にご協力いただいたNPO法人いしのまきNPOセンターの関係者のみなさま、読者のみなさまにお詫びいたします。

●申込：講座・専門相談は要予約。所属団体・参加者氏名・連絡先・電話・FAX番号・質問事項をご記入のうえ、FAX・メール・電話にてお申込み下さい。
●主催：宮城県（みやぎNPOプラザ）●企画・実施：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

開催講座

■ゼロからはじめる！

市民活動のための会計初級講座in石巻

簿記の知識のない人も、経理の経験のない人も、市民活動団体の会計担当者として「最低限これだけは知っておいて欲しいこと」を分かりやすく学びます。

- 日 時：11月21日(金)14:00～16:00
- 講 師：笹館公男氏(税理士)
- 対 象：NPOや市民活動団体のメンバー・スタッフなど
- 参加費：500円(税込)
- 会場：宮城県石巻合同庁舎仮設会議室003

■活動を伝える！NPOのための動画活用講座

実際に『撮影から編集まで』チャレンジします。どんな団体PRの表現方法があるかを学び、団体のPR動画を作ってみましょう！

- 日 時：12月4日(木)14:00～16:30
- 講 師：漆田義孝氏(NPO法人メディアージ)
- 対 象：NPO・市民活動団体で活動している市民など
- 参加費：800円(税込)

■基本を押さえる！NPO法人のための税金初級講座

NPOに関する税金の概要のほか、源泉徴収が必要な報酬や料金、年末調整のしかた、NPO法人と任意団体との課税の違いなどを分かりやすく学びます。

- 日 時：12月12日(金)13:30～16:30
- 講 師：平野由紀子氏(税理士)
- 対 象：NPOの代表・役員、会計担当など
- 参加費：1,000円(税込)

■新規のNPO法人認証団体(2014. 8. 11～10. 10)

宮城県のNPO法人数779団体(平成26年10月10日現在)

宮城県のNPO法人数366団体 仙台市のNPO法人数413団体

※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く。

NPO夜学

NPO夜学は仕事や趣味だけじゃない、“新しい価値観との出会いの場”です。あなたにあった社会貢献をNPOで見つけませんか？

【第3回 働きながらNPO】

- 日 時：11月26日(水)19:00～21:00
- ゲスト：眞野美加氏(ママとシネマ実行委員会)

【第4回 NPOを仕事にする】

- 日 時：12月13日(土)16:30～18:30
- ゲスト：齋藤勇介氏(NPO法人子育て応援団ひよこ)

- 対 象：社会人・学生で市民活動に興味のある方
- 定 員：各回15名程度(申込先着順)
- 参加費：1,000円(税込、お菓子付)

NPOのための専門相談

■会計・税務相談 ⇒11/27(木)、12/16(火)

■融資なんでも相談 ⇒11/20(木)

■コミュニティビジネス相談 ⇒1/30(金)

■法人設立・団体運営 ⇒毎週水曜日

- 時 間：13:00～17:00(1団体1時間程度、定員3団体)
- 申込方法：要予約。所属団体・参加者氏名・電話・FAX番号・質問事項をご記入のうえ、下記連絡先までお申込み下さい。
- 申込締切：開催日の6日前

■新たに認定(仮認定)を取得したNPO法人

- ・認定/JETO(ジェット)みやぎ(宮城野区)
- ・仮認定/あかねグループ(若林区)

	団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県	TEDIC	石巻市	子ども・若者の社会的繋がり の啓発・促進を図る事業	8/28
	てくてく	松島町	松島町における介護保険事業及び世代間交流の場づくり事業	9/8
仙台市	サン・キッズ保育園	泉区	保育事業	8/28
	ひまわりの会	青葉区	求職者に対する就労支援、情報提供事業 雇用全般・社会生活に関する相談・調査研究、情報提供事業 ストリートチルドレンの生活支援、物資提供及び教育支援事業 等	9/1
	在宅療養支援介護隊	宮城野区	医療と在宅医療の連携の為に関係する事業、在宅医療・介護に関わる従業者の育成の事業、在宅医療・介護に関わる従業者用保育所の設置及び関係する事業 等	9/18

One
to
One

発行日 2014年11月1日
発行 宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)
発行部数 3,000部
編集 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
編集スタッフ 庄司真希 後藤和広 今村瑠美

【お問合せ】

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

2014年11月
Vol.82

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニュースレターです。